

第15回 医療的ケア研修セミナーのお知らせ

日本小児神経学会は、社会活動・広報委員会の担当で「医療的ケア講師研修セミナー」を2004年から毎年開催し、その内容をもとに「医療的ケア研修テキスト」を発行してきました。本会は、2009年度より「医療的ケア研修セミナー」と改称され、より多くの方を対象としたセミナーとなっております。2018年度は、下記の要領で金沢市において開催いたします。今回のセミナーでは医療的ケアの研修に加え、障害児・者の生活モデルを支える為の訪問診療及び学校での医療的ケアについても学び、考える会にいたしました。すでに医療的ケアにかかわっている方から未経験の方まで多くの皆様に参加していただければ幸いです。

期 日 2018年11月4日（日） 9：30～17：30（受付開始9：00）

会 場 金沢商工会議所会館（〒920-8639 金沢市尾山町9番13号）

対 象 重症神経疾患児・重症心身障害児（者）等の、医療・療育・教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・看護師・保健師・理学・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士など

目 的 家庭・学校・通園通所施設などにおいて、在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が拡がりを持ちながら適切に行われるよう、専門職が知っておくべき方法・技術、リスクおよび制度論などの諸問題について研修し、支援者が知識を共有できることを目的とする。

定 員 150名（申し込み先着順）

参加費 医師7,000円、非医師3,000円、医療系学生2,000円（当日お支払い）

主 催 一般社団法人日本小児神経学会

共 催 日本重症心身障害学会、一般社団法人日本小児看護学会

後 援 石川県、石川県小児医療ネットワーク事業協議会、石川県医師会、小児神経学会北陸地方会、石川県小児科医会、金沢こども医療福祉センター（順不同）

申込受付 2018年9月3日（月）～10月22日（月）

申込方法 終了しました

問合せ先 一般社団法人日本小児神経学会事務局（東京都新宿区余丁町8-16 ネオメディアトピア4F）

E-mail : seminar@childneuro.jp ; Fax : 03-3351-4067

第15回医療的ケア研修セミナー会長 佐藤 仁志（金沢医科大学小児科）

専門医研修単位 小児神経専門医研修単位5単位が認められます。iii小児科領域講習単位申請中
医師会認定生涯教育講座研修単位カリキュラムコード（10,12,13,19,45,73,80）

プログラム

- 9:00～ 受付開始
- 9:30～ 9:35 開会の挨拶
佐藤仁志（金沢医科大学小児科）
- 9:35～10:25 小児在宅医療と多職種連携～子どもと家族の暮らしにどう向き合うか～
高橋昭彦（ひばりクリニック）
- 10:35～11:25 呼吸器ケアの実際～カフアシストと NPPV 及び気管切開と喉頭気管分離の適応について～
石川悠加（国立病院機構八雲病院小児科）
- 11:35～12:25 胃瘻と気管切開術
河野美幸（金沢医科大学小児外科）
- 13:40～14:30 重症心身障害児に整形外科医ができること
櫻吉啓介（金沢こども医療福祉センター整形外科）
- 14:40～15:30 全国の学校での医療的ケア実施状況と課題
三浦清邦（豊田市こども発達センター）
- 15:40～16:30 石川県の学校での医療的ケア
石川県の学校での医療的ケア実施状況と課題 東 寿彦（石川県教育委員会）
学校での医療的ケア 看護師の立場から 金谷雅代（石川県立看護大学小児看護学）
- 16:40～17:00 総合討論
- 17:00～17:30 医療的ケアの今後に向けて
医療的ケア児とその家族の暮らしを、各々の地域の皆で支えるシステム構築について～
米山 明（心身障害児総合医療療育センター小児科）